

第1回 日本漢字能力検定 試験問題

3級

(A)

解答には、「常用漢字表」に示された漢字の字体、読みを使用すること。旧字体での解答は認めない。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。(30) 1×30

- 1 チャンピオンに果敢にいどむ。
2 過去の事例と類似した点が多い。
3 市内の某所に身を潜めていた。
4 次第に国力が衰退した。
5 レンタカーの超過料金を支払う。
6 屈託のない笑顔を見せる。
7 母と娘の愛憎を描いた小説だ。
8 苦闘の末に難病を克服した。
9 真新しい濃紺の制服にそでを通す。
10 会費を一年間滞納していた。
11 帰国した我が子を抱擁する。
12 高温多湿の土地で暮らす。
13 怠慢な仕事ぶりをとがめる。
14 被災国から援助の要請があった。
15 日増しに恋慕の情が募る。
16 炎天下で試合が行われた。
17 定評のある国語辞典が改訂された。
18 実験に没頭して食事を忘れる。
19 北欧の神話を研究する。
20 商魂たくましい店主だった。
21 墨絵の掛け軸がかかっている。
22 木彫りの人形を収集する。
23 稲の穂先が風に揺れる。
24 日焼け止めのクリームを塗る。
25 嫁ぐ日が近づいてきた。
26 一生をかけて学問を究める。
27 トラックの積み荷に覆いをかける。
28 人に恨まれる覚えはない。
29 工事の騒音に眠りを妨げられた。
30 外国の企業に太刀打ちできなかった。

(二) 次の一線のカタカナにあてはまる漢字をそれぞれのア〜オから一つ選び、記号にマークせよ。(30) 2×15

- 1 ジュン刊の雑誌を欠かさず読む。
2 機械にジュン滑油をさす。
3 法律をジュン守する。
4 冠婚ソウ祭の知識を得る。
5 思わぬ事故にソウ遇した。
6 連絡がとだえ焦ソウに駆られる。
7 火事の原因はロウ電だった。
8 寺院の長い回ロウを歩く。
9 放ロウの旅に出る。
10 キョウ谷を縫って列車が走る。
11 暴力やキョウ迫に屈しない。
12 助けを求めて絶キョウした。
13 クちた倒木が山道をふさいでいた。
14 自らの浅はかさがクやまれる。
15 本のページをクる。

(三) 1〜5の三つの□に共通する漢字を入れて熟語を作れ。漢字はア〜コから一つ選び、記号にマークせよ。(10) 2×5

- 1 □慮 ・ □回 □問
2 □査 ・ □理 ・ □誤
3 合 □ ・ □中 ・ □握
4 □走 ・ □出 □船
5 浮 □ ・ □掲 □抑
ア 監 イ 揚 ウ 憂 エ 審 オ 致
カ 帆 キ 疾 ク 掌 ケ 顧 コ 沈

(四) 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。(20) 2×10

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの (岩石)
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの (高低)
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの (洋画)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの (着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの (非常)

次の熟語は右のア〜オのどれにあたるか、一つ選び、記号にマークせよ。

- 1 祝宴 6 登壇
2 隔世 7 休憩
3 主催 8 未詳
4 虚実 9 濫獲
5 犠牲 10 緩急

(五) 次の漢字の部首をア〜エから一つ選び、記号にマークせよ。(10) 1×10

- 1 暫 (ア車 イ斤 ウ日 エ口)
2 慌 (アサイエウ川 エト)
3 処 (ア几 イル ウヌ エ夕)
4 卸 (ア止 イ卜 ウニ エ缶)
5 籍 (ア来 イ日 ウ々 エ木)
6 粹 (アシ イ十 ウ木 エ米)
7 募 (アサイカウ大 エ日)
8 卓 (アト イ口 ウ日 エ十)
9 廉 (ア广 イハ ウ一 エ二)
10 蔵 (ア臣 イサ ウ戈 エ厂)

3級

(A)

この面の設問(六)～(十)はマークシート方式ではありません。答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

氏名

(六) 後の□内のひらがなを漢字に直して□に入れ、対義語・類義語を作れ。□内のひらがなは一度だけ使い、答案用紙に一字記入せよ。

(20)

2×10

対義語

- 1 模倣 | □ | 創
- 2 抽象 | □ | 体
- 3 弟子 | □ | 匠
- 4 優雅 | □ | 粗
- 5 強情 | □ | 従
- 6 決心 | □ | 覚
- 7 容赦 | □ | 勘
- 8 征伐 | □ | 退
- 9 大要 | □ | 概
- 10 高低 | □ | 伏

類義語

き・ぐ・こ・し  
じ・じゅん・どく・べん  
や・りやく

(七) 次の一線のカタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)に直せ。

(10)

2×5

〈例〉問題にコタエル。

答える

- 1 友人とかわした約束にソムイ<sup>た</sup>。
- 2 ウモレ<sup>た</sup>人材を発掘する。
- 3 国の首都としてサカエル<sup>。</sup>
- 4 太鼓をイサマシク<sup>打ち鳴らす</sup>。
- 5 将棋でライバルをマカス<sup>。</sup>

(八) 文中の四字熟語の一線のカタカナを漢字に直せ。答案用紙に二字記入せよ。

(20)

2×10

- 1 俗世を離れてシンザン<sup>幽谷</sup>に入る。
- 2 シュウシ<sup>一貫</sup>して反戦を唱える。
- 3 晩年はカチョウ<sup>風月</sup>を友とした。
- 4 作業はチュウヤ<sup>兼行</sup>で続けられた。
- 5 客のもてなしにヨウイ<sup>周到</sup>を期する。
- 6 千変バンカ<sup>する事態</sup>に処する。
- 7 決して自暴ジキ<sup>にならな</sup>かった。
- 8 兄弟の取っ組み合いは日常サハン<sup>だ</sup>。
- 9 一件ラクチャク<sup>して一息</sup>つく。
- 10 大胆フテキ<sup>な態度</sup>に驚かされる。

(九) 次の各文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。

(10)

2×5

- 1 刑務所を出た人の社会復帰を支援する保護司の総数が限少し続けている。
- 2 味は悪いが収穫量の多い米が家畜の仕料として大きな需要を見込まれる。
- 3 高齢者の健康の維事に寄与するため、理学療法士の資格を取る勉強に励む。
- 4 想像を絶する猛吹雪に襲われたが全隊員が一眼となり危機を切り抜けた。
- 5 学校で使う体操マットの中身の材質が改料され衝撃吸収能力が向上した。

(十) 次の一線のカタカナを漢字に直せ。

(40)

2×20

- 1 点検が済んで運転をサイカイ<sup>する</sup>。
- 2 教員のメンキョ<sup>を取得</sup>する。
- 3 子供たちがムジャキ<sup>に遊ん</sup>でいる。
- 4 過激な発言がブツギ<sup>をか</sup>もす。
- 5 犯人の逃げ道をフウ<sup>じ</sup>る。
- 6 大雨による鉄砲水をケイカイ<sup>する</sup>。
- 7 メイロウ<sup>な性格</sup>で皆に好かれる。
- 8 基本的人権がシンガイ<sup>され</sup>る。
- 9 考え方の相違から会がブンレッツ<sup>した</sup>。
- 10 大統領が外国にポウメイ<sup>した</sup>。
- 11 成績が飛躍的にノビ<sup>た</sup>。
- 12 軒下を借りてアマヤドリ<sup>する</sup>。
- 13 きゅうりをウスク<sup>輪切</sup>りにする。
- 14 経営を息子にマカセ<sup>て第一線</sup>を退く。
- 15 空に白いワタグモ<sup>が浮</sup>かんでいる。
- 16 蚕がクワ<sup>の葉</sup>を食べて成長する。
- 17 諸情報を比較して結論をミチビク<sup>く</sup>。
- 18 いつもより早くネドコ<sup>に入</sup>った。
- 19 志ナカバ<sup>にして倒</sup>れた。
- 20 柱のカド<sup>に頭</sup>をぶつけた。